



くみあいたより

JAなんぼろ



JAなんぼろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

千成勝治氏が北海道報徳名誉賞を受賞

6月20日（火）、共済ビル（札幌市中央区）で、

J A北海道中央会臨時総会や全道J A組合長会議が併催され、全道のJ A組合長及び来賓が見守るなか、北海道報徳社から各分野での功績者への表彰が行われ、この度、千成勝治氏（夕張太西幌）が北海道報徳名誉賞を受賞されました。

名誉賞は、昭和58年度より、過去の北海道報徳善行賞受賞者の中から特に事績顕著な方が表彰されています。

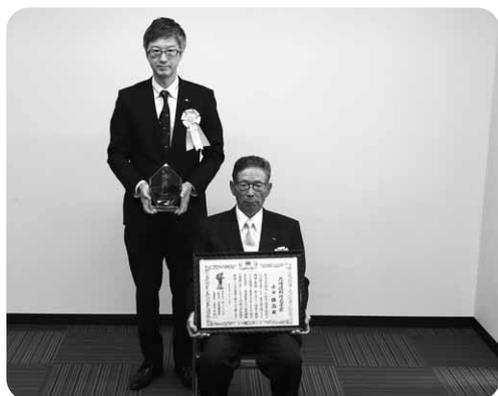
先代から昭和42年に経営移譲された千成氏は、何事にも心を込めて作業する気構えで農業に向き合い、現役時代には、5年連続で1等米

を出荷しています。

また、地域の方からの人望も厚く、献身的かつ精力的に仲間と共に営農活動に従事し、農協の理事に就任してからは、これからの後継者不足を懸念し町内農家の法人化を最前線で進めるなど多くの事業に尽力してきました。

これらのことが評価され、北海道報徳名誉賞を受賞しました。

氏は現在も、南幌町内の施設管理や町内施設周辺の草刈りを行う等の活動を通して南幌町へ貢献されており、これからも千成氏のますますのご活躍をお祈りいたします。



出荷間近ピーマン目慣らし会開催

6月16日（金）、野菜等集出荷センターでピーマンの出荷目慣らし会が開催されました。

目慣らし会では、札幌みらい中央青果株式会社とピーマン部会の部会員が参加し、出荷規格や出荷要領の確認、実際にピーマンを手に取り規格や品質を見定めていました。

真剣な表情で質問を交えながら、ピーマンを確認している部会員の姿を見て、本年産の収穫に向ける熱い想いが感じられました。



田植えを通して南幌町の基幹産業を学ぶ

当JAでは、南幌小学校5年生を対象とした田植え・稲刈り体験等を行う学習田活動を行っています。この活動は、小学生への食育活動の一環として毎年行っており、春の田植えから始まり、移植後の苗の観察、稲刈り、刈り取ったお米を食べる試食会まで実施します。児童達は、1年間の活動を通して日常生活で食卓に並ぶお米が、どのように作られているのかを学ぶことが出来ます。

5月15日(月)には、南幌小学校で事前学習を行いました。

講師に、空知農業改良普及センター空知南西部支所の山越専門普及指導員を招き授業が行われ、「田植えまでの苗の育苗方法やほ場の準備について」「田植え時の注意点について」の2点について勉強し、田植え学習前に見聞を広めることが出来ました。

5月24日(水)には、織田章氏(鶴城)の水稲ほ場をお借りし、田植え学習を開催しました。40名の児童達は、初めての体験で恐る恐る田んぼに入っていました。徐々に慣れた様子で、元気よく苗を手植えしていました。

児童からは、「初めての田植えで大変だったけれど、植えるのが楽しくてあっという間に終わってた」と話していました。

苗を植えた後には、児童に虫よけ効果のあるアップルミントを畔に植え付けてもらい、クリーン農業にも取り組みました。



青年部だよりの第2回例会開催

発行者
JAなんぼろ青年部
編集責任者 奈良岡凌平

第2回例会開催

6月15日(木)、三重湖公園キャンプ場で、第2回青年部例会を開催しました。例会では、各班の活動報告や今年の青年部活動について協議を行いました。例会終了後には、田植え作業の労をねぎらうための泥落としを、3年ぶりに野外開催することができ、久しぶりに顔を合わせた盟友達は、近況報告や営農の話題で盛り上がりました。今後もJAなんぼろ青年部では、盟友達との交流の場を大切にして、何事にも挑戦し楽しい活動をしていきたいと思えます。

年金・ローン・共済相談会を行いました

6月10日(土)、JAバンクなんぼろでは、年金・ローン・共済相談会を行いました。当日は、社会保険労務士の荒千鶴先生を招き、4名の来店者に対して年金に関する相談に応じました。今後もJAバンクなんぼろでは、お客様が快適に利用できる環境作りに努めて参ります。なお、次回の年金・ローン・共済相談会は、10月に開催を予定しています。

北海道信連新入職員研修受入れ

4月17日(月)から5月19日(金)の1ヶ月にわたり、北海道信用農業協同組合連合会の令和5年度新入職員の小師悠聖さん、村山睦也さん、吉田沙織さんの3名が当JAに研修に訪れました。

研修では、JA各部署で業務を体験した他、組合員宅にて農業研修を行いました。

1ヶ月間の研修を終えた小師さんは、「農作業やJAなんぼろの業務を通して、業務内容だけでなく、どのような形で組合員さんに寄り添っているか、JAの役割について等、様々な視点から学ぶ事ができました。今回の経験を活かし、南幌町をはじめ、道内の組合員さんの力になれるように努めたい」と話していました。



経営所得安定対策等の手続きを実施

5月29日(月)から6月2日(金)の1週間、JA3階大会議室で経営所得安定対策等の申請手続き、畑作物産地形成促進事業とコメ新市場開拓等促進事業(旧水田リノベーション事業)に係る要件確認、肥料高騰対策に係る確認を行いました。

今年、受付確認内容も多く、各曜日で地区割を実施するとともに、営農に支障をきたさないよう引き続き、新型コロナウイルス感染症対策も実施しながらの開催となりました。

本年も農繁期の受付でありましたが、期間中にたくさん生産者の方が訪れ、南幌町農業再生協議会事務局である営農部農業振興課と南幌町産業振興課農政グループの職員が受付を行いました。



楽粒散布実演会で作業を確認

5月26日(金)、武良敏則氏(鶴城)の水稲圃場で、水稲除草剤「サキガケ楽粒」の散布実演会を行いました。この除草剤は拡散性の良い新規製剤で、今年散布を予定している組合員数名が集まり、散布時の注意点等を確認しながら散布実演を行いました。約1.5haの圃場で、風上側の畦畔1辺からひしゃくで散布すると、約5分ほどで作業が完了し、省力化を実感することができました。当日は北興化学工業株式会社の柳瀬氏より薬剤に関する詳細説明があり、参加者からは「具体的な散布方法を確認できて良い機会だった」という感想をいただきました。薬剤に関するお問い合わせはJAグリーンセンターまで(378-2231)。



実演にご協力いただいた武良さん、ありがとうございました。



散布後の薬剤拡散性を皆さんで確認。

長船技師による営農情報！



リン酸肥料の特性について

リン酸肥料の主原料はリン鉱石ですが、日本国内で産出されないため、海外に依存しています。リン鉱石の産出国は中国、モロッコ、チュニジア、アメリカ、ロシア、ヨルダンですが、近年、中国やアメリカは国内需要を優先させるため、リン鉱石の輸出の抑制などで原料確保が難しい状況になっています。今回はリン酸肥料の分類と特性を紹介します。

1 リン酸の分類

リン酸の肥料成分は、溶けやすさ（溶解性）で「水溶性」「可溶性」「ク溶性」に分類されます。

表1 リン酸の分類

成分	略称	名称	リン酸の溶けやすさ
リン酸	WP	水溶性リン酸	・水に溶けるリン酸で根から速効的に吸収されます。
	SP	可溶性リン酸	・過リン酸石灰に含まれ水には溶けないが、作物には水溶性リン酸同様に良く吸収利用されます。
	CP	ク溶性リン酸	・少し溶けにくく吸収が緩効性ですが効果が長く維持できます。
	TP	リン酸全量	

2 リン酸肥料の特性比較

表2 過リン酸石灰と溶性リン肥との特性比較

	過リン酸石灰	溶性リン肥
①性状	灰白色粉状、粒状	淡緑色砂状、粒状
②組成 (肥料成分と保証量)	可溶性リン酸 17～18.5% 水性性リン酸 14～15.5%	可溶性リン酸 20～25% 可溶性苦土 12～17% 可溶性ケイ酸 20～25%
(副成分)	石灰、硫酸	石灰
③水に対する溶解度	+	-
④水溶液の濃度	酸性	塩基性
⑤土壌に及ぼす影響	中性	塩基性
⑥吸湿性	+	±
⑦肥効	速効性	緩効性
⑧使用上の留意点	水に溶けやすく、作物に吸収されやすい。 60%前後の硫酸石灰を含む基肥・追肥に良い	火山灰土壌、酸性土壌に好適 炭カル80%に相当する酸性矯正効果がある。基肥として使う

3 リン酸肥料の成分比較

表3 主なリン酸質肥料の成分

肥料名	可溶性リン酸	水溶性リン酸	可溶性リン酸	石灰分	苦土分	アルカリ	ケイ酸
過リン酸石灰	20	17	-	25	-	-	-
苦土重焼リン	-	16	35	20	45	-	-
溶リン	-	-	20	29	15	50	20

備考：この他に、重過リン酸石灰、重焼燐特号、ダブルリン特17号、高度燐特号があります。

参考資料：新版 土壌診断と作物改善、今さら聞けない肥料の話

農林水産用

ドローン総合保険



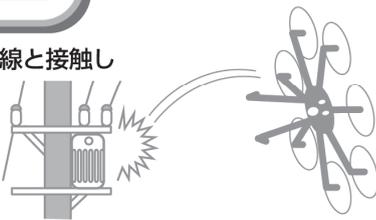
農業や林業、漁業を取り巻く
幅広い分野での様々な場面で
ドローンが活用されています。



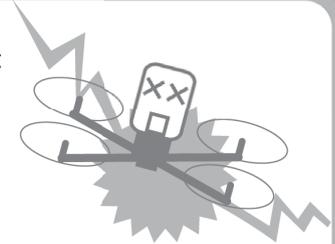
でも、ドローンの活用にはこんな**リスク**が！

機体事故 事故例

操作誤りにより、架線と接触し
機体が破損した。



フライト中、機体に雷を
受けて操縦不能になり落
下し破損した。



倉庫に保管していたドローンが
盗難にあった。

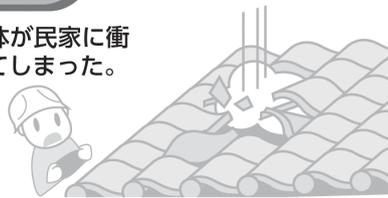


フライト中に機体の行方
がわからなくなり、機体
の捜索のため交通費や宿
泊費が必要となった。

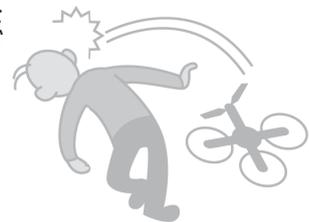


賠償事故 事故例

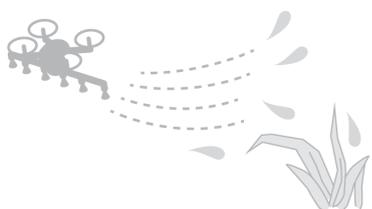
操縦ミスにより機体が民家に衝
突し、屋根を壊してしまった。



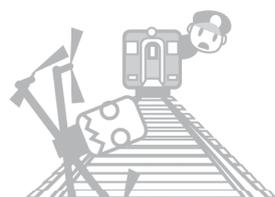
ドローンの着陸時に目測を
誤り、歩行者に接触しケガ
をさせてしまった。



ドローンで散布した
農薬が風に流され、
隣接する隣家の畑に
飛散した為、葉枯れ
を起こし、商品とし
て出荷できなくなっ
た。



ドローンが操縦ミスにより
誤って線路上に墜落し、線
路の損害はなかったもの
の、ドローンの撤去のため
に電車の運転を停止させ、
賠償責任を負った。



万が一のドローン機体の損害や
第三者への法律上の賠償責任に備え、
農林水産用ドローン総合保険をおススメします！
是非、ご加入をご検討ください！

農林水産用ドローン総合保険の5つのポイント

ポイント1 新価(再調達価額)で保険金をお支払い！（機体補償）

-  この保険契約では、保険の対象となるドローンの機体の保険金額を新価で設定します。
万が一の事故の際は、新価をもとに保険金をお支払いします。（支払限度額を設定した場合は、その限度額が上限となります。）
新価での保険金のお支払いなので、修理代や買換費用の持ち出しがありません。（-10 等級から 0 等級の契約で、初回事故の場合）
新価（再調達価額）とは保険の対象であるドローンと同一の質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに要する額をいいます。

ポイント2 事故がなければ翌年の保険料が割安に！（機体補償）

-  保険料は、事故の有無により変動する等級制度を採用しています。事故がなければ、翌年継続時の更改保険料がお安くなります（-7 等級～-10 等級の更改保険料は同一となります。）。

ポイント3 3機以上の契約をまとめることで保険料を5%引き！（機体補償）

-  1 保険証券で 3 機以上のドローンを契約する場合に「多数契約割引」を適用し、保険料を 5 % 割り引きます。

ポイント4 農薬の飛散等のドリフトリスクも対象に！（賠償責任補償）

-  農薬や肥料の散布、種子の散播について、風に流され、隣接する隣家の農作物に被害を与えた場合などのドリフトリスクも補償の対象にしています。

ポイント5 様々な特約を自動付帯！（賠償責任補償）

-  他人に迷惑をかけた場合に負担する法律上の賠償責任について、様々なケースに対応できる各種特約をセットしたプランをご用意しています。

このチラシは保険の概要を説明したものです。補償内容は農林水産用ドローン総合保険パンフレット（PE112000）とあわせてご覧ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または共栄火災営業店にお問い合わせください。

●このチラシにおける「農林水産用ドローン総合保険」は、動産総合保険と施設賠償責任保険（ドローン【農林水産用】特約付帯）のセット商品です。

お問い合わせ先
JAなんぼろ共済課

窓口営業時間
月～金 9:00～17:00 土曜、日曜、祝祭日休業
(11:30～12:30 窓口休止)

電話番号 011-378-0841
FAX 番号 011-378-2224

引受保険会社 **共栄火災海上保険株式会社**

本社 / 〒105-8604 東京都港区新橋 1-18-6
ホームページ <https://www.kyoeikasai.co.jp/>

PE118300 (’22.08)
22-0983

理事会報告

6月14日

6月定例理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議案】

1. 役員賠償責任保険契約の締結について
2. 規程の改正について
3. 出資金の減口について

【報告事項】

1. 第4回 営農振興組合長会議の開催について
2. 農産物の生育状況について
3. 令和4年産 収入減少影響緩和交付金の決定および積立金の返納について
4. 令和5年肥（令和6年用）肥料推進と価格動向について
5. 農業用廃農ポリ・廃農ビニールの回収処理について
6. 5月末 農産物の保管状況について
7. 令和5年度 南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設 小麦操業計画について
8. マネロンガイドラインとのギャップ分析結果について
9. JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針の制定について
10. 令和5年度 JA総合推進について
11. 5月期 JAローンの貸付について
12. 内部監査の実施報告について
13. JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
14. 令和5年度 5月末組合員の異動状況について
15. 第1四半期における固定資産の取得、処分について
16. リスク情報について
17. 夏期手当の支給について
18. 5月末 財務状況について

表紙の紹介

◎今月号は、報徳名誉賞を受賞された千成 勝治さん（夕張太西幌）に表紙を飾っていたいただきました。



中央農業試験場 公開デー

入場無料

日時: 8月3日(木)午前9時30分～午後2時

場所: 道総研 中央農業試験場(長沼町東6線北15号)

内容: 体験・展示コーナー、相談コーナー(作物、土壌、病害虫)、バスで園地見学など(本年度、試食はありません。)

会場・問い合わせ: 道総研 中央農業試験場
TEL 0123-89-2586

編集後記

気が付けば令和5年の半分以上が経過してしまいました。毎年あつと言う間に12月を迎えています。今年の夏はたくさんバーベキューしたいなと思う吉田でした。(すでに10回以上やっていることは秘密です。)

くみあいだより担当の吉田は、取材時に長ねぎの定植を体験させていただきました。



私達のJA

令和5年5月末日現在

組合員 (前年同期比)	2,675名 ▲27名
正組合員 (前年同期比)	435名 ▲12名
准組合員 (前年同期比)	2,240名 ▲15名
正組合員戸数 (前年同期比)	273戸 ▲8戸